

リアモニターシステム パッケージ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 本機は、安全のための注意事項を守らないと
火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐ
ための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。
この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのう
え、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

XVM-R65P



警告

安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 運転中に画面を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

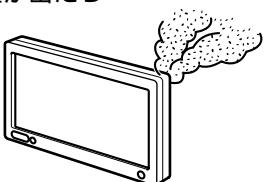
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 安全な場所に車を止める
- 電源を切る
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。



この表示の注意を守らないと、けがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示

目次

▲警告・▲注意	4
電池についての安全上のご注意	6
はじめに	7
モニターの取り付け・取りはずし	8
各部のなまえ	9

操作する

入力信号を選ぶ	12
画面モードを設定する	13
画面設定を変える	14
音量を調節する	16
コードレスヘッドホンを使う	17
使用上のご注意	18
故障かな？	22
保証書とアフターサービス	24
主な仕様	25

警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する本機の取り付けには専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、ヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



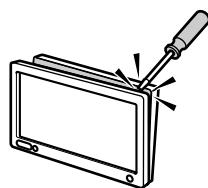
指示

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



禁止



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、CDやMDなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

⚠ 警告

- ・電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- ・電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ・乳幼児の手の届かないところに置く。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- ・火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- ・電池の(+)と(-)を正しく入れる。
- ・ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- ・電池は充電しない。
- ・電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- ・電池に直接はんだ付けをしない。
- ・保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する。
- ・皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠ 注意

- ・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたたり、変形させない。
- ・直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- ・電池を水などで濡らさない。

はじめに

- ・ビデオプレーヤー、ビデオゲーム、追加モニター用のAV入力2系統とAV出力1系統を装備。
- ・“PS one”*用のDC7.5V出力を装備。

- ・コードレスヘッドホン用赤外線トランスミッターを装備。

* “PS one”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

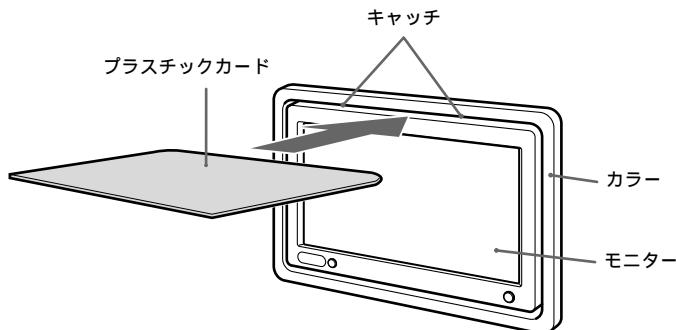
モニターの取り付け・取りはずし

モニターをカラーから取りはずす

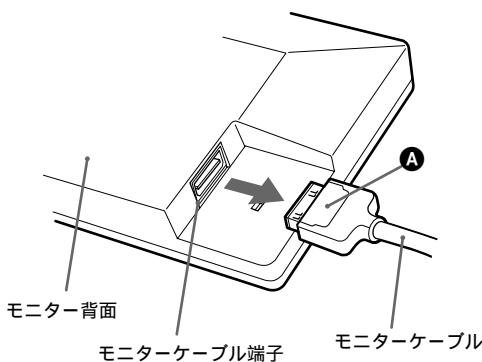
- 1 カラーとモニター上部の間にプラスチックカードを入れる。

キャッチが解除され、モニターをカラーから取りはずせます。

モニターをカラーから取りはずすときは、ケーブルを強く引っ張らないでください。



- 2 モニター背面にあるモニターケーブルの**A**を押しながら引き抜く。

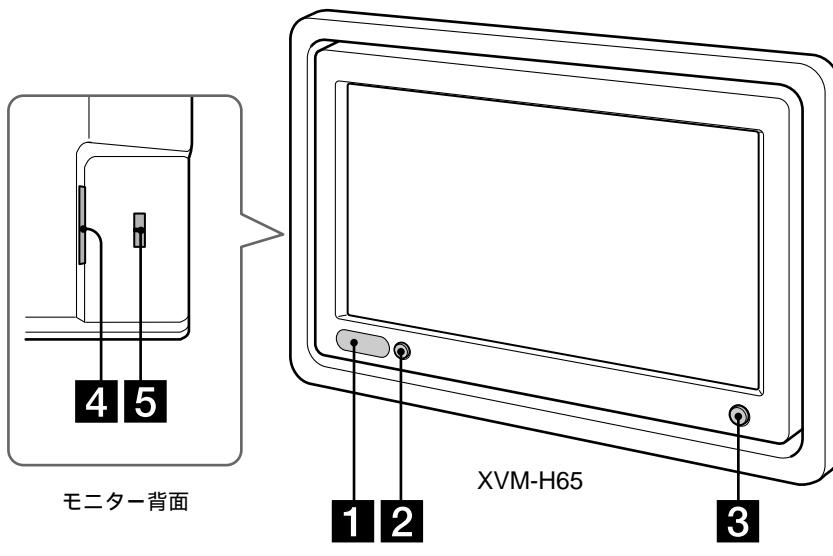


モニターを取り付ける

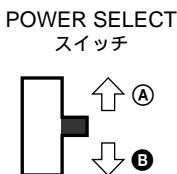
カチッと音がするまでしっかりとカラーにはめ込んでください。

各部のなまえ

モニター



- 1 カードリモコン受光部 /
コードレスヘッドホントランスマッター
- 2 IR ON/OFFボタン
コードレスヘッドホントランスマッター
を入 / 切します。
- 3 POWER(電源)ボタン
- 4 モニターケーブル端子
- 5 POWER SELECTスイッチ
Ⓐ: イグニションキーにアクセサリー位置
ーションがあるとき(工場出荷時)
Ⓑ: イグニションキーにアクセサリー位置
ションがないとき



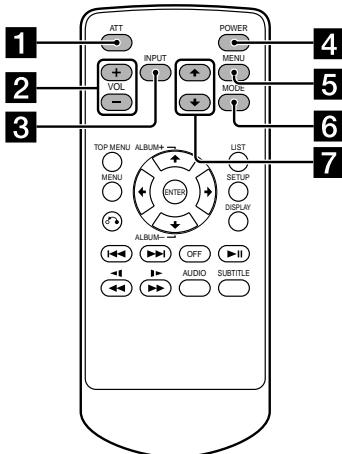
POWER SELECTスイッチがⒷのとき
モニターのPOWERボタンを押して電源を入
れます。カードリモコンのPOWERボタンを
押しても電源は入りません。

ご注意

- 運転が終わったらモニターの電源を切ってください。
モニターの電源を切るには、次の操作をしてください。
 - モニターのPOWERボタンを押す。
 - カードリモコンのPOWERボタンを押す。電源を入れたままにしておくと、バッテリーあがりの原因になります。
- イグニッションキーにACC位置がない場合、POWER SELECTスイッチをⒷの位置にして、赤色コードを絶縁してください。赤色コードを接続するとバッテリーあがりの原因となります。

次のページへつづく

カードリモコン RM-X122



モニター操作用ボタン

1 ATTボタン

音量を瞬時に小さくします。

2 VOL(音量) +/- ボタン

音量を調節します。

3 INPUTボタン

入力信号を切り替えます。

4 POWER(電源)ボタン

モニターの電源を入／切します。

5 MENUボタン

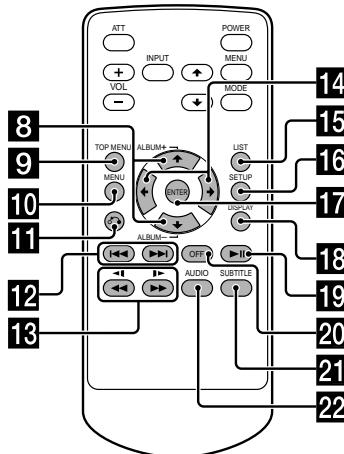
画面の設定をします。

6 MODEボタン

画面モードを切り替えます。

7 ↓/↑ボタン

設定する項目を選択します。



DVDプレーヤー操作用ボタン

ソニーモバイルDVDプレーヤーを本機に接続したときに、カードリモコンで操作することができます。

8 ↓/↑(ALBUM +/-)ボタン

9 TOP MENUボタン

10 MENUボタン

11 ⏪ボタン

12 ⏪/▶▶ボタン

13 ⏪/▶▶(◀◀/▶▶)ボタン

14 ⏪/→ボタン

15 LISTボタン

16 SETUPボタン

17 ENTERボタン

18 DISPLAYボタン

19 ▶▶ボタン

20 OFFボタン

21 SUBTITLEボタン

22 AUDIOボタン

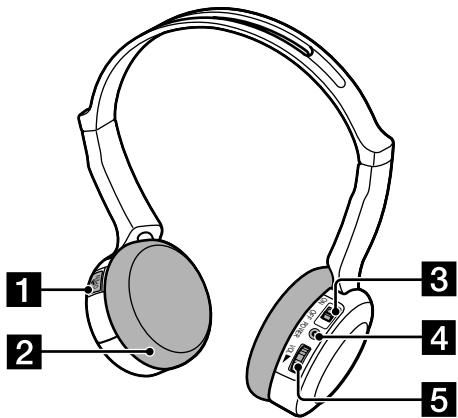
- ・くわしくは、DVDプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。

- ・ソニーDVDチェンジャーDVX-100は操作できません。

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(19ページ)をご覧ください。

コードレスステレオヘッドホン
MDR-IF0140



1 電池ふた

電池を交換するときにふたを開けます。

2 イヤーパッド

3 電源(ON/OFF)スイッチ

コードレスヘッドホンの電源を入／切します。

4 POWERランプ

ヘッドホンの電源が入っているときに、ランプが赤く点灯します。

5 VOL(音量)ダイヤル

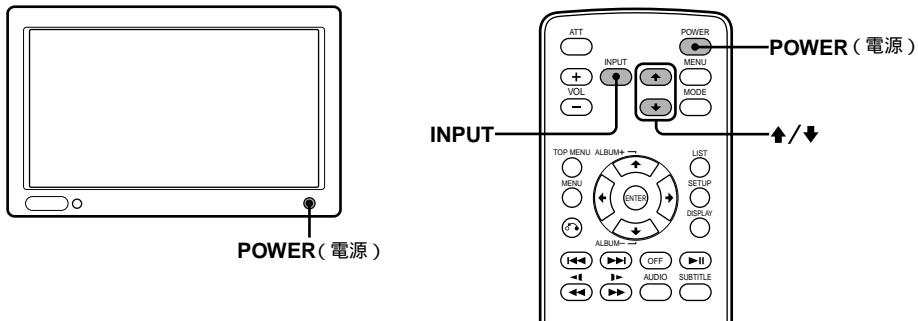
0から10の間で音量を調節できます。

ちょっと一言

- 乾電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(20ページ)をご覧ください。
- イヤーパッドの交換のしかたについては「使用上のご注意」(21ページ)をご覧ください。

入力信号を選ぶ

入力信号とカラー・テレビ方式を設定することができます。



1 POWERボタンを押す。

電源が入ります。

2 INPUTボタンを押して入力信号を選ぶ。

INPUTボタンを押すごとに、次の順序で入力信号が切り換わります。

→ VIDEO1 → VIDEO2 → VIDEO3*

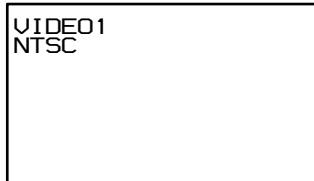
* ソニー・DVDプレイヤーMV101を選ぶには

INPUTボタンを繰り返し押して「VIDEO3」を選びます。

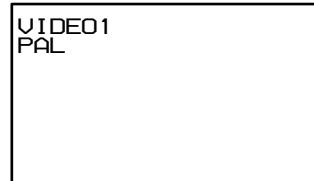
3 ↑または↓ボタンを押して、カラー・テレビ方式を選ぶ。

ソース(VIDEO1など)が表示されている間に、↑または↓ボタンを押してください。

「NTSC」選択時



「PAL」選択時

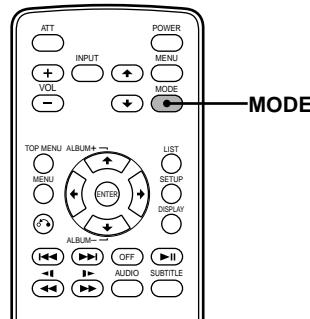


ちょっと一言

イグニシヨンキーにACCポジションのない車で、POWER SELECTスイッチが❶の位置にセットされている場合、カードリモコンのPOWERボタンを押しても電源は入りません(9ページ)。

画面モードを設定する

Normal(標準)モードの他にFull(フル)、Zoom(ズーム)、Wide(ワイドズーム)モードを設定することができます。

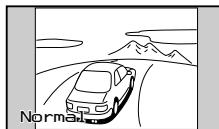


操作する

MODEボタンを繰り返し押す。

選択されている画面モードが表示されます。

MODEボタンを押すごとに、次の順序で画面モードが切り換わります。



Normal(標準)
(工場出荷時)
横縦比4:3で表示



Full(フル)
横縦比4:3の映像の左右を画面
サイズに拡大して表示



Wide(ワイドズーム)
横縦比4:3の映像の左右周
辺だけを画面サイズに合わせ
て拡大して表示



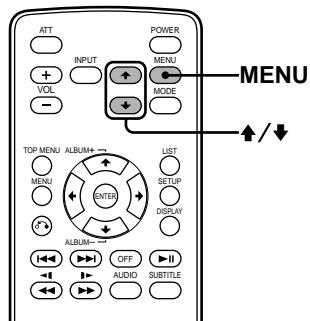
Zoom(ズーム)
横縦比4:3の映像全体を左
右に合わせて拡大し、上下を
カットして表示
(Zoomモードに設定する
と、画像が粗くなることがあ
ります。)

MODEボタンを離してから5秒後に画面モードが設定されます。

操作する

画面設定を変える

座席から画面が見えにくいときは、画面設定を調節することができます。



1 MENUボタンを押す。

「Picture」画面が表示されます。

MENUボタンを押すごとに、次の順序で画面が切り換わります。

→ Picture → Brightness → Color → Hue*¹ → Dimmer
Menu Off ← Blue Back ← Mode ← Video Adjust ←

2 ↑または↓ボタンを押して設定を調節する。

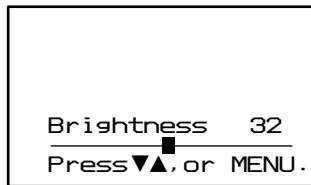
「Picture」選択時



↓ボタン：
コントラスト
を下げる

↑ボタン：
コントラスト
を上げる

「Brightness」選択時



↓ボタン：
画面を暗く
する

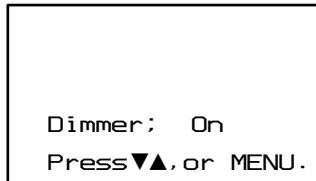
↑ボタン：
画面を明る
くする

「Color」選択時



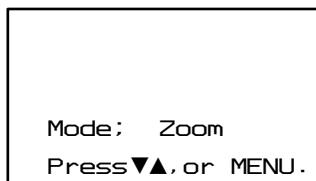
↓ボタン：
色を淡くする ↔ ↑ボタン：
色を濃くする

「Dimmer」選択時



「On」に設定すると、自動的に画面が
減光します。

「Mode」選択時



「Normal」、「Full」、「Zoom」または
「Wide」の画面モードを選択する
ことができます。くわしくは13ページをご覧く
ださい。

「Hue」*1選択時



↓ボタン：
彩度を下げる ↔ ↑ボタン：
彩度を上げる

「Video Adjust」選択時



「Picture」、「Brightness」、「Color」、
「Hue」*1、「Dimmer」の設定が初期
設定に戻ります。

「Blue Back」選択時



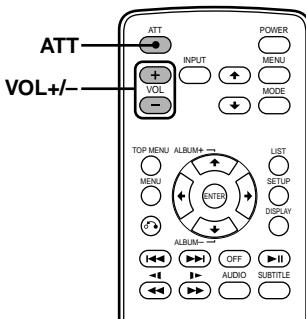
信号がない、または信号が弱い場合、
青い画面が現れます。連続して弱いビデ
オ信号を受信したときは青い画面が点滅
します。このような場合は
「Blue Back」を「Off」に設定します。

*1 NTSCカラーテレビ方式を選択したときのみ表示されます。

*2 「CTR」はがーーバーの中央にあるときのみ表示されます。

音量を調節する

付属のカードリモコンで、ワイヤードヘッドホンや接続した機器の音量を調節することができます。



カードリモコンのVOL(+)またはVOL(-)ボタンを押す。

+ を押すと音量が大きくなり、 - を押すと小さくなります。

音量を瞬時に小さくする

カードリモコンのATTボタンを押す。

「ATT ON」が表示されます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。

ヘッドホンに接続する

コネクションボックスのヘッドホンジャック(ステレオミニ)に接続して、カードリモコンのVOL(+)またはVOL(-)ボタンで音量を調節します。

付属のコードレスヘッドホンMDR-IF0140を使う

くわしくは「コードレスヘッドホンを使う」(17ページ)をご覧ください。

ご注意

- 付属のカードリモコンでコードレスヘッドホンの音量を調節することはできません。
- 複数のコードレスヘッドホンを使用し混信が起きたときは、モニターのIR ON/OFFボタンを押してコードレスヘッドホンのトランスマッターを切り、ワイヤードヘッドホンを使ってください。

ちょっと一言

コードレスヘッドホンについては「コードレスヘッドホンの取り扱い」(20ページ)をご覧ください。

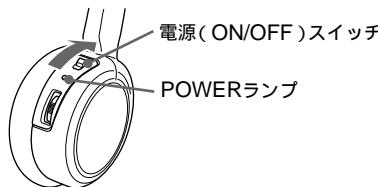
コードレスヘッドホンを使う

ご注意

耳を保護するため、ヘッドホンの音量を下げるからお使いください。

1 右ハウジング部の電源スイッチを「ON」にする。

ヘッドホンの電源が入り、POWERランプが赤色に点灯します。



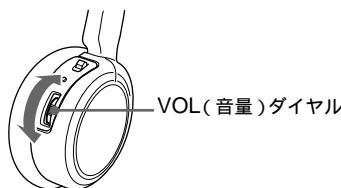
2 ヘッドホンをかける。

右ハウジング部(R)を右耳に、左ハウジング部(L)を左耳に合わせてください。

3 再生する。

4 VOLダイヤルを回して音量を調節する。

音量調節中にヘッドホンの赤外線センサーを手でさえぎるとアッテネート機能が働き、音量を調節できなくなります。



アッテネート機能

赤外線が届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりすると、雑音が増え、音が聞こえにくくなります。この雑音による耳への負担を減らすため、自動的にアッテネート機能が働き、ヘッドホンから音が聞こえなくなります。モニターのトランスマッターに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすると、自動的にアッテネート機能は解除されます。

使い終わったら

ヘッドホンをはずして、電源を切ります。(ヘッドホンをはずす前にモニターの電源を切ると、雑音が聞こえることがあります。)

使用上のご注意

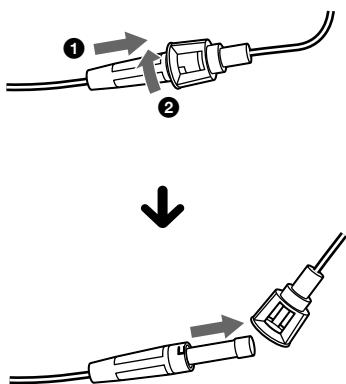
モニターの取り扱い

プラスチック部品について

モニター や リモコンなどのプラスチック部品に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量を超えるヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



液晶パネルについて

液晶パネルの前面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因となります。

お手入れについては、次のことにご注意ください。

- 液晶パネルについたほこりやゴミ、指紋などは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませてふきとってください。
- ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- 静電気防止剤なども、逆に液晶パネルを傷めことがありますので使用しないでください。
- ・ 寒いところでご使用になる場合、内部照明装置（バックライト）が暗くなります。車内の温度が上がるとともに戻ります。
- ・ 温度が5 以下または45 以上のところでは使用しないでください。
- ・ かなりの低温または高温になると映りが悪くなることがあります。故障ではありません。常温に戻ると回復します。

液晶パネルの輝点について

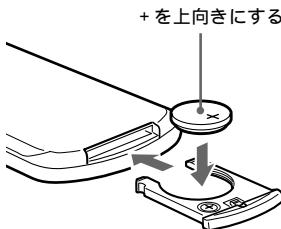
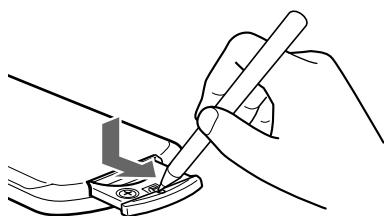
モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現れることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯があります。また、電源を切ったときに数秒間画面に乱れが出ることがあります。あらかじめご了承ください。いずれの場合もお使いになるうえで支障はありません。

リモコンの取り扱い

電池の入れかた

リチウム電池CR2025の \oplus と \ominus を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もれます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所からはずし、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、モニターの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

[次のページへつづく](#)

コードレスヘッドホンの取り扱い

乾電池の持続時間

ヘッドホンには単4形の乾電池が付属されています。

乾電池の種類	持続時間 ^{*1}
ソニーアルカリ乾電池 LR03/AM-4 (N)	約60時間 ^{*2}
ソニーマンガン乾電池 R03/UM-4 (NU)	約28時間 ^{*2}

^{*1} 1kHz, 1mW + 1mW出力時

^{*2} 持続時間は周囲の温度や使用状態により異なります。

乾電池についてのご注意

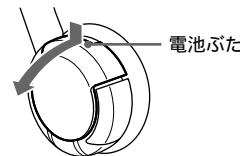
長期間ヘッドホンを使わないときは、液漏れや腐食を防ぐために、電池を取り出してください。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、ヘッドホンのPOWERランプが暗くなってきます。また、音がひずんだり雑音が多くなります。その場合は新しい乾電池と交換してください。

乾電池の入れかた

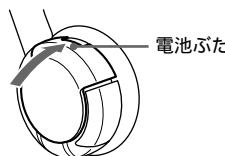
- 左ハウジング部にある電池ぶたを開ける。



- 付属の単4形乾電池を入れる。



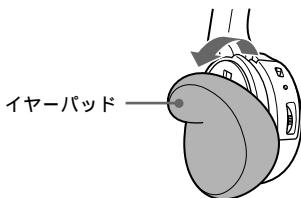
- 電池ぶたを閉める。



イヤーパッドの交換

イヤーパッドは消耗品です。汚れたり破損した場合は、下図を参照してイヤーパッドを交換してください。イヤーパッドは市販されてませんので、お買い上げ店または付属の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせのうえ、お取り寄せください。

1 古くなったイヤーパッドをはずす。



2 イヤーパッドをハウジングの外周に合わせるようにはめ込む。



コードレスヘッドホンについてのご注意

- 直射日光があたるところなど高温場所、湿度の高いところにヘッドホンを放置しないでください。
(5°C ~ 35°Cの範囲でご使用ください。)
直射日光に当たった状態で使用すると、乾電池が液漏することがあります。また、赤外線受光部の感度が劣化し音質が低下することがあります。
- ヘッドホンを落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

周りの人への注意

適度な音量を保ち、呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

この取扱説明書に記載されていないヘッドホンに関する質問や問題がある場合は、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

モニター XVM-H65

症状	原因・処置
映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none">電源コードまたはバッテリーが接続されていない。ヒューズが切れている。
映像は出るが音がない。	→ カードリモコンのVOL(+)ボタンまたはATTボタンを押してください。
はん点や点模様が走る。	→ 配線はなるべくエンジンなど、ノイズの原因となるところから離してください。
接続した別売り機器の画像が映らない。	接続したコードと車のアクセサリー電源のコネクターが接触不良を起こしている。 → コードをしっかりと接続してください。
イグニションキーがON、ACCまたはOFFのときにノイズが出る。	
カードリモコンのボタンを押しても動作しない。	カードリモコンの電池が切れている。

コードレスステレオヘッドホン MDR-IF0140

症状

原因・処置

音が出ない。
音がこもる。

- ・ヘッドホンの電源を入れてから、ヘッドホンをかける。
- ・モニターの電源が入っているか確認する。
- ・アッテネート機能が働いている。
 - トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認してください。
 - トランスミッターの近くでヘッドホンを使用してください。
- ・ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している。
 - ヘッドホンの電池を交換してください。

音がひずむ。

ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している。
→ヘッドホンの電池を交換してください。

雑音が多い。

- ・トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。(トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。)
- ・トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
- ・赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。
- ・直射日光が当たらない場所で使用する。
- ・ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している。
 - ヘッドホンの電池を交換する。

故障かな？

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

モニター XVM-H65

種類	液晶カラーディスプレイ
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面の大きさ	6.5型ワイドスクリーン (16:9) 144×77mm、163mm (幅×高さ、対角線径)
画素数	336,960画素 (縦234×横1440)
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
消費電流	約700mA
外形寸法	164×103×29mm (幅×高さ×奥行き)
使用温度範囲	+5°C ~ +45°C
質量	約370g

コネクションボックス XA-113

AV出力	出力インピーダンス 220 以下、100pF以下
出力レベル	0dBs ± 0.3dB (0.755Vrms) (Vol Max)
映像	75 1Vp-p
AV入力 × 2	入力インピーダンス 10k 以上、1000pF以下
入力レベル	± 1.3dBs +0/-0.3dB (0.755Vrms) (Vol Max)
映像	75 1Vp-p
DC出力	7.5V (最大2A)
外形寸法	150×42×80mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約250g

カードリモコン RM-X122

電源	CR2025リチウム電池
操作距離	約2.5m
外形寸法	52×125×10mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約40g (リチウム電池を含む)

コードレスステレオヘッドホン

MDR-IF0140

変調方式	周波数変調
搬送波周波数	右チャンネル 2.8MHz 左チャンネル 2.3MHz
周波数特性	18 ~ 22,000Hz
電源	DC 1.5V (単4形乾電池 × 1)
質量	約125g (乾電池を含む)

付属品

電源コード(1)
モニターケーブル(5m)(1)
DC-DCコード(3m)(1)
ステレオミニプラグケーブル (5m)(1)
DVDケーブル(2m)(1)
カラー(1)
取り付けキット(1式)
取扱説明書(1式)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

別売品

DVDプレーヤー
DVX-11A、MV-101
"PS one"*

* "PS one"は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

本機の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

- **ナビダイヤル***  **0570-00-3311**
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
- **携帯電話・PHSでのご利用は*** **03-5448-3311**
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
- **FAX** **0466-31-2595**

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1 : 修理受付
- 2 : 使用方法や故障と思われるご相談
- 3 : お買物相談
- 4 : 業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5 : その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35